



『くまっこタイム』で広がる学びの土台



～MIM デジタルやコグトレオンラインのねらいと効果～

本校では「くまっこタイム」の時間に、ドリルパーク（AI 活用のデジタルドリル）や MIM デジタル、コグトレオンラインなどに取り組んでいます。ドリルパークでは、子どもの理解度に応じて、問題が出題され、基礎学力の定着だけでなく、思考力・判断力・表現力の育成をサポートしています。MIM デジタルやコグトレオンラインでは、学力そのものを直接高めるのではなく、学ぶために必要な土台となる力を育てています。学力を支えているのは、集中力や理解力、粘り強さといった目には見えにくい力です。

くまっこタイムで育てているこれらの力は、国語や算数をはじめ、すべての教科の学習を支える大切な基盤となります。

ドリルパーク

AI を活用したデジタルドリルです。

子どもの理解度に応じて、学習内容が個別に最適化されます。AI が進捗状況を把握し、それに合わせて問題を提供するため、効率的な学習が可能です。

「聞く」「読む」「書く」の3つの技能をバランスよくトレーニングできる問題が用意されており、1つのドリルに取り組む時間は5～10分程度なので、手軽に学習が進められます。

自動採点機能があり、間違えた問題のみを再度学習する機能が搭載されているため、効率的に復習を行うことができます。

1・2年生:MIM デジタル

1・2年生が取り組んでいる MIM では、「見る・聞く・声に出す・体を動かす」など、いくつもの感覚を使いながら、文字と音のつながりを学びます。

例えば

『文字を見て、音を聞き、声に出して読む』『言葉をリズムや動きと結びつけて覚える』といった活動を行います。

この取組により、「文字を読むことへの抵抗感が減ってきた」「音読に自信をもつ子が増えてきた」「『読めた』『わかった』という成功体験が増えた」といった変化が見られています。文字と音のつながりを体験的に学ぶことで、読み書きの基礎を確実に身に付けることをねらいとしています。

3～6年生:コグトレオンライン

3～6年生が取り組んでいる「コグトレオンライン」は、記憶する力・集中する力・考える力・見分ける力など、学習や生活の基盤となる「認知機能」を鍛えるトレーニングです。

例えば

『見た情報を一度覚えて答える』『条件を整理して正しい答えを選ぶ』『注意深く見比べて違いを見つける』といった課題に、短時間で繰り返し取り組みます。

この1年間の取組を通して、「つまずきに教員が気づいて、アプローチできるようになった」「話を最後まで聞こうとする子が増えた」「集中して課題に向かう時間が長くなった」「間違えてもあきらめずに考え直そうとする姿が見られるようになった」など、学習に向かう姿勢の変化が見られています。

これらは、教科の理解を支える大切な力の育ちだと考えています。

【短時間でも継続して取り組んできたことで・・・】

「最後まで話を聞こうとする姿勢が育ってきた」「間違いを恐れずに挑戦する子が増えてきた」「集中して課題に向かう時間が長くなってきた」など、学習面や学習に向かう態度の変化を各学年で感じています。

これらの力は、すぐに点数として表れるものではありませんが、学び続けるための大切な土台です。

今後も「くまっこタイム」を通して、一人ひとりが自分のペースで力を伸ばし、学ぶことに前向きに取り組める子どもたちの育成を目指していきます。

ご家庭でも、子どもたちの小さな変化やがんばりを温かく見守っていただければ幸いです。

子どもたちの未来を、地域とともに（学校運営協議会の開催）



第1回学校運営協議会を5月22日に開催し、地域の皆さまと学校づくりについて話し合いました。

協議会では、本校の学校経営方針を説明し、ご承認をいただきました。

今年度の重点目標である「子どもの困り感を多面的に捉え、チームで支える」ことを大切に、教職員が連携しながら支援を進めてまいります。

意見交流では、「地域とともに子どもを育てる」をテーマに、地域行事の大切さや保護者・地域の環境の変化、また学校・家庭・地域の連携の重要性について意見が交わされました。

今後も、地域や保護者の皆さまと連携しながら、子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。